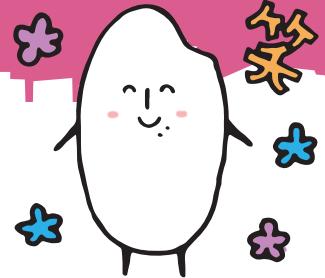


# 公明 まつど

News

松戸市公明党の推進で

## 「住みたくなる松戸づくり」が着実に前進!!



©KOMEITO

皆さんに、ご報告です!!

松戸市公明党が掲げる『住みたくなる松戸づくり』の  
“4つの約束”が実現または大きく前進しています。  
公明党の具体的な提案が市民生活を向上させました。  
これからも一層の推進に向けて全力で取り組んでまいります!!



1

### 『パパ・ママ安心! 駅前・駅中保育が実現!』

これまで市民の皆さまからは、通勤途中で子どもを送迎しやすくなる「駅前・駅中保育」を増やしてほしいとのお声を多くいただいておりました。

全国的に待機児童が大きな課題となる中、ここ松戸市でも保育所整備などを積極的に推進した結果、人口40万人以上の規模の都市として初めて、市内全駅の駅前・駅中における小規模保育施設の整備が完了しました。

また、保育施設の偏在を解消する「送迎保育ステーション」も公明党の訴えにより、更なる充実が図られています。

これからも、待機児童ゼロの達成に向けて、全力で取り組んでまいります!



©KOMEITO

まかせて、



©KOMEITO

公明党松戸市議  
10名まで、  
皆様の声を  
お聞かせください。



松戸市公明党の推進で

# 「住みたくなる松戸づくり」が着実に前進!!

## 2 『スポーツ施設の整備・拡充が大きく前進!』

公明党は、2020年東京オリンピック・パラリンピック大会に向けて、松戸市出身の選手を全力で応援とともに、市民がスポーツに親しむ機会の拡充にも挑戦しています。

公明党の訴えにより、29年度には、今まで空調設備が無かった松戸運動公園体育館に空調機器が整備され、天井の改修とともに照明のLED化なども実施されます。

また、皆さまからご要望の多い、夜間の校庭開放については、実現に向けての調査が行われることになりました。

2020年には、オランダ、ドミニカ共和国、ルーマニア選手団が、松戸市を事前キャンプ地として利用する予定です。公明党は今後ともスポーツ環境の整備に全力で取り組みます!



©KOMEITO

## 3 『人が集い、にぎわう街づくりが大きく前進!』



公明党は、多くの方が安心して楽しむことのできる、活気ある街づくりを推進しています。

松戸駅周辺の整備においては、松戸駅西口デッキのバリアフリー化工事が順調に進められており、駅構内のバリアフリー化工事も間もなく開始される予定です。

また、東口の相模台地区の開発も、公共施設の整備に向けて検討が進んでいます。

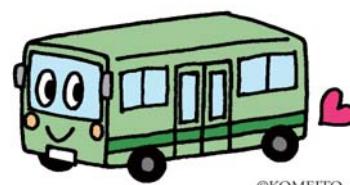
3月末で閉鎖された八ヶ崎の北部市場跡地には、大型商業施設誘致が検討されており、更なる賑わいの創出に挑戦してまいります。

矢切の渡しや戸定邸を含めた矢切地区の観光拠点づくりも始まり、その他にも、新松戸駅東側地区や北小金駅北口の再開発なども順次始まる予定です。

## 4 『交通不便地域解消に、移動手段の充実にも引き続き挑戦します!』

市民の皆さまから、「路線バスが通っていない」「バス停までが遠くて大変」といった切実な声をいただいています。

29年度には、公共交通不便地域の解消に向けて、中和倉をモデル地区とした「コミュニティバス」の実証実験がスタートすることになりました。



©KOMEITO

公明党は、引き続き、目的地まで気軽に移動できる「乗り合い型デマンドタクシー」の導入に全力で取り組んでまいります!